


迫りくる恐怖 つなぐ未来へ

かっこ良さげな表題にしてみました。が、近年深刻な社会問題となっている「地球温暖化」への対応として、64・65期に業務課でおこなった熱中症対策と省エネの取り組みなどを、この場をお借りして紹介させていただきます。

まず熱中症対策として、課で危険レベル激高だった2ヶ所の対策を実施！！
サーモグラフィー測定での結果も悪環境といえる数値でした(°Д°;) 
一日元気に、生き活きどを保って働くことは困難な環境です。

対策箇所と内容ですが、出荷係の熱がこもりやすい作業箇所の天井と、資材整理作業場の側面に、換気扇（ファン）を設置。
更に先日、事務所側のテント側面に開口部を設けて、風通しを良くし通気性を高めるよう改良しました。

64期では設置時期が遅かったもので、そこまでの効果確認ができませんでしたが65期の夏、これから効果が出るのを期待しています。

また、解決していない課題としては「**資材整理作業場での夏場ヒーター問題**」です。

簡単に説明しますと、客先から完成ケースが返ってきたら、ケースには製品ラベルやガムテープと一緒に付いて戻ってくるのですが、これがなかなか面倒で、多くの方が経験あると思いますがスツときれいに剥がれず切れ端が残ったり、かなりの力を加えないと剥がれなかったりします。これが一日仕事となると体への負担も大きいです。
ここで出てきたのが遠赤外線ヒーター。数分間粘着部に熱を掛けることによって、きれいに早く剥がれるのですが、熱中症が問題視されてる昨今、これ以上夏場に今のやりかたを続けるのもよくないと思い、これから進めていこうとしている方法として

- ・ガムテープ → 紙テープ（クラフトテープ）
- ・シールラベル → 紙ラベル（カード差し使用）

上記への仕様変更を検討中。

これが実現すれば夏場にヒーターを使用しなくてもよくなり、作業環境改善や焼却物・労務費の削減、省エネにも繋がります。

いきなりの変更は難しいですし、他にもっといい案がないかなど模索中ではありますが作業者が倒れる前に改善したいと思っています。

実現に向けて、他部署へのご協力もお願いすることになるかと思いますが、その際は宜しくお願い致します。

ここからは、省エネの取り組み紹介です。

業務課には製品の水気を飛ばしたり、初期密着を高めたりするための乾燥機が6台あります。

その乾燥機表面にガイナ塗料といわれる遮熱塗料を塗り、放熱を抑えることで省エネになり乾燥機の表面温度も5℃程度下げること成功。

※ガイナ塗料とは・・・JAXAの持つロケット先端部に塗る断熱技術を株式会社日進産業が民間転用し、開発・製造している断熱セラミック塗材 のことです。

まだ未実施の乾燥機もありますので、こちらも今期の夏がくるまでには終わらせる予定です。

また、ご存知の方も多いかもしれませんが本社A棟2階に新しい検査室と塗装部屋（溶着室）が完成し、2025.3月に大勢の作業者が1階から引っ越ししています。

是非一度A棟2階にお越しください(^O^)

新しい部屋には断熱材が使用されていて、外気温の影響を受けにくくなることで室内の温度を安定化させ、快適な室内環境を維持しエネルギーの消費も抑えられます。

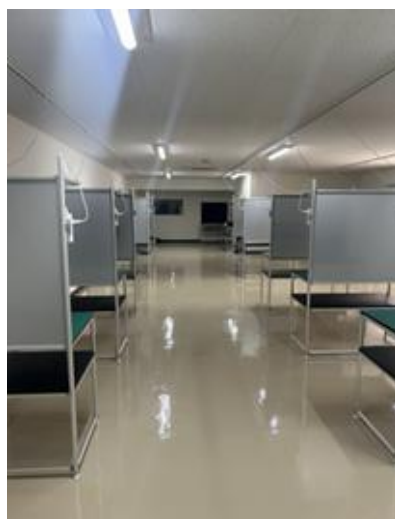
更に2027年に蛍光灯の生産終了と消費電力低減の観点から、検査台に使用している照明を蛍光灯からLED照明に変更。1灯約35W→9Wになり、年間24万円ほどの消費電力削減となります。



乾燥機（ガイナ塗料塗装済み）



新検査室内



塗装部屋
（帯電防止塗料塗装済み）



A棟2F通路

簡単ではありますが、取り組みの紹介は以上となります。

最後に、ひとりひとりの意識や行動によって地球や未来がちょっとずつ守られると思うので、これからもみんなで「より良い会社、より良い未来」になるよう繋いでいきましょう！！